

製品名: GM130 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe83706

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	人間、ネズミ、ラット、サル、牛、犬
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.39mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 113 kDa ; Observed MW: 130 kDa

抗原情報

遺伝子名	GM130
別名	GM130; Gm130 autoantigen; GOLGA 2; Golga2; Golgi autoantigen; Golgin 95;;Golgin subfamily A member 2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q08379
免疫原	ヒトゴルギンサブファミリー A メンバー 2 由来の合成ペプチド

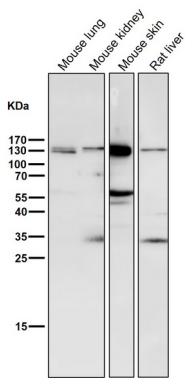
背景

ゴルジ体自己抗原。シスゴルジ体構造の維持に関与していると考えられる。分泌経路におけるタンパク質および脂質の糖鎖付加と輸送に関与するゴルジ体は、積み重ねられたシステルナ（扁平化した膜嚢）の連続体から構成される。ゴルジ体と微小管との相互作用は、有糸分裂中に断片化されたゴルジ体の再構築に重要であると考えられている。この遺伝子は、ゴルジ体に局在するタンパク質ファミリーであるゴルジンの1つをコードしている。

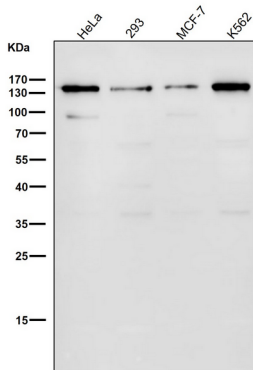
研究分野

-

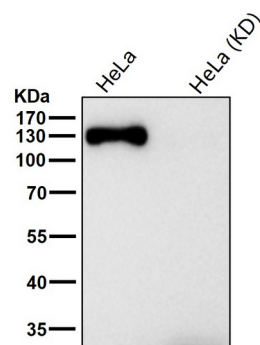
画像データ



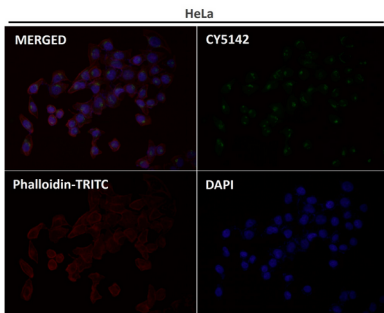
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



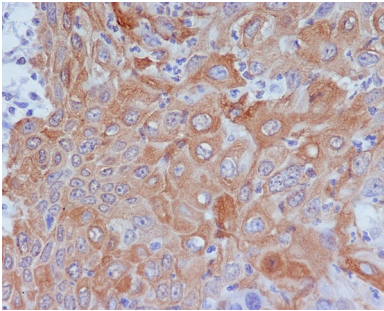
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



1:200 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。



GM130 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学分析。